

平成 24 年 7 月 20 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 山口県立下関中等教育学校 教諭 吉武 創
2. 講師氏名: Dr. Marzuki (京都大学)
3. 同行者氏名: _____
4. 実施日時: 平成 24 年 7 月 10 日 (火) 10 : 40 ~ 12 : 20
5. 参加生徒: 6 回生 (高校3年生相当) 34 人
備考: 理系コース選択の生徒
6. 講演題目: (英文) Cloud propagation study over Indonesian Maritime Continent
(和文) インドネシアにおける大気観測について
7. 講演概要:
人のためになる職業に就きたくて気象学者の道を選んだ。インドネシアは気象学的に特異な地域に位置しており、天気予報の精度が悪い。また、気象観測所の数が圧倒的に少なく、細かな観測がなされていない現状である。私たちのグループは、インドネシアのコタバンに赤道大気レーダーを構築し、レーダー観測データから、赤道帯の実際の大気の状態を精度良く導くための変換方程式の導出に成功した。この成果は今後インドネシアをはじめとする赤道帯での気象予報の精度を向上させることができると信じている。自分は経済的にもあまり恵まれていない環境で初等中等教育を受けてきたが、独学で英語を学び、今でもどうしたら人のためになれるか考えながら人生を送っている。君たちも、様々な可能性に前向きにチャレンジしてほしい。
8. 使用言語: 英語

9. 講演形式:

(1) 講演時間 50 分 質疑応答時間 30 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
パワーポイントとプロジェクター使用による講演、実験や実習は無し。

(3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者なし

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

講師のプロファイル(英文)輪読、質問事項の作文(英文)と事前送付等

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項:

- ・実施予定であることを早い時期から公表し、講師との英文での打ち合わせ内容を随時掲示することで意識の高揚を図った。
- ・前日に、講師と講義内容等について詳細の再確認を行った。
- ・JSPS よりスタッフ2名による視察が行われた。
- ・講義の冒頭30分程度、4回生(高校1年相当)の数学マスタークラス受講生18名が、講義室後方にて体験聴講を行った。
- ・講義終了後、講師、有志生徒、教員とともに昼食会(1時間程度)を実施した。
- ・本事業の様子を山口朝日放送(YAB)が取材し、夕方の地域ニュース番組で放映した。